

基準4 学生の受入

(1) 観点ごとの分析

観点4-1-①： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められているか。

【観点到係る状況】

本学の入学者受入の基本方針は、「人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます」と定めている。この基本方針を受けて、各学部において、それぞれの学問分野や教育方針の特性に応じて、アドミッション・ポリシーを定め、学生募集要項に、本学の理念、教育・研究の基本方針等とともに掲載している。

大学と学部のアドミッション・ポリシーは、教育の基本方針等とともに、本学ウェブサイト及び学部のウェブサイトで公開している。大学院各研究科においては、前期博士課程、後期博士課程、専門職大学院それぞれのアドミッション・ポリシーを募集要項などで公表している他、本学ウェブサイト、各研究科ウェブサイトなどで公表している。このほか、一部の専攻や社会人特別選抜でもアドミッション・ポリシーを定めている（資料4-1-1-A）。

資料4-1-1-A アドミッション・ポリシー

大学のアドミッション・ポリシー（学士課程・大学院課程）

（学士課程）

大阪市立大学は、学士課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて入学者選抜を実施します。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待します。

- (1) 高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。
- (2) 本学の全学共通教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。
- (3) 各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

（大学院課程）

大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、学部あるいは大学院の教育課程等における学修を通して培った確かな基礎学力と専門分野における十分な知識、および人間性豊かで、科学や都市の産業・文化・生活・環境の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そして、このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

（出典） <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/mission>

各学部のアドミッション・ポリシー

商学部 <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/business>

経済学部	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/economics
法学部	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/law
文学部	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/literature
理学部	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/science
工学部	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/engineering
医学部医学科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/medicine
医学部看護学科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/nursing
生活科学部	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty/humanlife

各研究科のアドミッション・ポリシー

経営学研究科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/business
経済学研究科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/economics
法学研究科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/law
文学研究科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/literature
理学研究科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/science
工学研究科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/engineering
医学研究科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/medicine
看護学研究科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/nursing
生活科学研究科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/humanlife
創造都市研究科	http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/creativecities

(出典) 本学ウェブサイト

【分析結果とその根拠理由】

学部・大学院・専門職大学院等の全部局において、人材育成の目標とともに、求める学生像や入学者選抜の基本方針等を示す学生受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、本学ウェブサイトや学生募集要項等で公開していることから、広く周知がなされているものと判断される。

観点4-1-②： 入学者受入方針に沿って、適切な学生の受入方法が採用されているか。

【観点に係る状況】

本学における学生受入は、アドミッション・ポリシーに基づく入学試験等の選抜により実施している。

学士課程の入学者選抜は、一般入試と「その他入試」（専門学科・総合学科卒業生入試、推薦入試、帰国生徒入試、社会人入試）に分けられる。一般入試は、大学入試センター試験によって基礎学力を判定するとともに、個別学力検査を課すことによって各学部の専門分野に応じて要求する学力を判定する。選択科目や配点等の選抜方法の詳細は各学部で検討している。なお、理学部化学科、工学部化学バイオ工学科、医学部医学科は口述、面接の方法を取り入れている。また「その他入試」では、専門的スキルや資格、専門科目の修得（専門学科・総合学科卒業生入試、推薦入試、社会人入試）、「日本留学試験」の受験と規定以上の得点の取得（私費外国人留学生入試）などの条件を付して、入学に際して必要な基礎学力を求めている（資料4-1-2-A～C）。

大学院課程の入学者選抜は、各研究科において、それぞれのアドミッション・ポリシーに沿って、筆頭試験と口述試験を組み合わせ選抜を実施しているのがほとんどである。一般入試以外に、それぞれの研究科の特性やアドミッション・ポリシーに応じた特別選抜の方法として、社会人入試、推薦入試、留学生入試などを実施している（資料4-1-2-D～F）。

資料4-1-2-A 学士課程における日程別募集人員（平成27年度）

募集人員	前期日程	1,175	合計	1,461
	後期日程	200		
	専門学科・総合学科 卒業生入試（前期）	6		
	推薦入試	70		
	社会人入試	5		
	学士・社会人入試	5		

（出典）平成27年度 学生募集要項（一般入試）15頁

資料 4-1-2-B 学士課程における学部・学科の入学者選抜（平成 27 年度）

学部	学科等	入学定員	募集人員								
			一般入試		専門総合	推薦入試	社会人入試	編入学	帰国生徒	留学生	
			前期日程	後期日程							
商学部	商学科	220	183	25	6	6					若干名
経済学部	経済学科	220	170	45			5				若干名
法学部	法学科	165	145	20				5			若干名
文学部	哲学歴史学科	32	125	30				3	若干名		若干名
	人間行動学科	56						3			
	言語文化学科	67						4			
理学部	数学科	24	18	6							若干名
	物理学科	33	22	7		3					
	化学科	42	25	7		5		3			
	生物学科	31	16	6		6					
	地球学科	18	12	3		3					
	理科選択	*	9								
工学部	機械工学科	56	45	10		1					若干名
	電子・物理工学科	42	33	8		1					
	電気情報工学科	42	33	8		1					
	化学バイオ工学科	56	45	10		1					
	建築学科	34	21	6		7					
	都市学科	50	40	9		1					
医学部	医学科	95	95								
	看護学科	55	40			10	5				
生活科学部	食品栄養科学科	35	27			8					若干名
	居住環境学科	43	35			8					
	人間福祉学科	45	36			9					

* 理学部理科選択定員（9名）は数学科以外の各学科に定員を振り分けているので、学則には理科選択の定員は記載していない。
 （出典）平成 27 年度 学生募集要項（一般入試）15 頁

資料4-1-2-C 学士課程の入学者選抜区分（平成27年度）

学部	一般	専門総合	推薦	社会人	編入学	帰国生徒	留学生
商学部	○	○	○	—	—	—	○
経済学部	○	—	—	○	—	—	○
法学部	○	—	—	—	○	—	○
文学部	○	—	—	—	○	○	○
理学部	○	—	○	—	○	—	○
工学部	○	—	○	—	—	—	○
生活科学部	○	—	○	—	—	—	○
医学部医学科	○	—	—	—	—	—	—
医学部看護学科	○	—	○	○	—	—	—

（出典） 本学ウェブサイト <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/undergrad/index.html>

資料4-1-2-D 大学院課程の入学者選抜（平成27年度）

前期博士課程

研究科	専攻名	入学定員	募集人員			
			一般入試	推薦入試	社会人入試	留学生
経営学研究科	グローバルビジネス	24	14	若干名	10	若干名
経済学研究科	現代経済	16	16	若干名	若干名	若干名
法学研究科	法学政治学	15	15	若干名	若干名	若干名
文学研究科	哲学歴史学	14	14		若干名	若干名
	人間行動学	16	16		若干名	
	言語文化学	22	22		若干名	
	アジア都市文化学	8	8		若干名	
理学研究科	数物系	29	29	若干名		若干名
	物質分子系	34	34	若干名	若干名	
	生物地球系	29	29	若干名		
工学研究科	機械物理系	33	33	若干名		若干名
	電子情報系	50	50	若干名		若干名
	化学生物系	33	33	若干名		
	都市系	45	45	若干名		
生活科学研究科	生活科学	48	48		若干名	若干名
医学研究科	医科学	12	12			若干名
看護学研究科	看護学	10	10		若干名	
創造都市研究科	都市ビジネス	35	若干名	若干名	夏季 18 冬季 17	

	都市政策	50	若干名	若干名	夏季 20 冬季 30	
	都市情報学	25		若干名	夏季 8 冬季 6	

後期博士課程

研究科	専攻名	入学定員	募集人員		
			一般入試	社会人入試	留学生
経営学研究科	グローバルビジネス	8	8		若干名
経済学研究科	現代経済	8	8	若干名	若干名
法学研究科	法学政治学	10	10		若干名
文学研究科	哲学歴史	8	8	若干名	若干名
	人間行動学	8	8		
	言語文化学	12	12		
	アジア都市文化学	4	4		
理学研究科	数物系	14	14	若干名	若干名
	物質分子系	13	13		
	生物地球系	14	14		
工学研究科	機械物理系	7	7	若干名	若干名
	電子情報系	10	10		
	化学生物系	7	7		
	都市系	9	9		
生活科学研究科	生活科学	15	15	若干名	若干名
医学研究科	基礎医科学	30	1次 15 2次 27		若干名
	臨床医科学	40	1次 10 2次 36		
看護学研究科	看護学	3	3 (一般入試と社会人入試を合わせた人員)		
創造都市研究科	創造都市	10	10		

(出典) 入試室資料

資料 4-1-2-E 大学院課程の入学者選抜区分

前期博士課程（平成 27 年度）

研究科	一般入試	推薦入試	社会人入試	留学生
経営学研究科	○	○	○	○
経済学研究科	○	○	○	○
法学研究科	○	○	○	○
文学研究科	○	—	○	○
理学研究科	○	○	○	○
工学研究科	○	○	—	○
生活科学研究科	○	—	○	○
医学研究科	○	—	—	—
看護学研究科	○	—	○	—
創造都市研究科	○	—	○	—

後期博士課程（平成 27 年度）

研究科	一般入試	推薦入試	社会人入試	留学生
経営学研究科	○	—	—	○
経済学研究科	○	—	○	○
法学研究科	○	—	—	○
文学研究科	○	—	○	○
理学研究科	○	—	○	○
工学研究科	○	—	○	○
生活科学研究科	○	—	○	○
医学研究科	○	—	—	○
看護学研究科	○	—	○	—
創造都市研究科	○	—	○	—

（出典） 本学ウェブサイト <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/index.html>

資料 4-1-2-F 専門職学位課程（平成 27 年度）

	入学定員	一般入試	募集区分	募集人員内訳
法学研究科 法曹養成専攻	60	○	3年標準型	30名程度
			2年標準型	30名程度

（出典） 平成 27 年度大学院法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）学生募集要項 1 頁より作成

http://www.law.osaka-cu.ac.jp/lawschool/pdf/h27_bosyuyoko.pdf

【分析結果とその根拠理由】

学部入試については、アドミッション・ポリシーに基づいて、一般入試を中心としつつ、専門

学科・総合学科卒業生入試、推薦入試、帰国生徒入試、社会人入試など多様な入学者選抜方法を採用している。具体的な試験方法等も、各学部のアドミッション・ポリシーと学問分野の特性に応じた適切なものとなっている。本学に入学する学生が関西地区のなかで高い水準を保っていることを考慮すると、本学が採用するアドミッション・ポリシーにもとづく学生の受け入れ方法は適切であり、かつ実質的に機能していると判断する。

大学院入試は、各研究科においてアドミッション・ポリシーに基づいた入試方法を採用している。各研究科では、毎年試験方法や入試結果を検証し、現行の受入方法が適切なものであると評価している。アドミッション・ポリシーに沿って適切に実施しているものと判断する。

観点4-1-③： 入学者選抜が適切な実施体制により、公正に実施されているか。

【観点に係る状況】

「大阪市立大学入試委員会規程」（資料4-1-3-A）により、学部入学者選抜試験（一般選抜）（以下、学部入試という）及び大学院入学者選抜試験（以下、「大学院入試」という）を統括して処理するため、教育推進本部長、入試担当部長、教務担当部長、学生担当部長、各研究科長、学術情報総合センター所長、大学運営本部事務部長、その他教育推進本部長が必要と認める者をもって構成される入試委員会（委員長は教育推進本部長、副委員長は入試担当部長）を設置している。この委員会は、学部入試及び大学院入試に係る基本方針及び重要事項を審議するとともに、学部入試に係る具体的な実施・運営を入試実施委員会に委嘱し、学部入試に係る問題作成等を入試出題・採点委員会に委嘱する。入試出題・採点委員会はそのもとに、出題する教科・科目ごとに問題作成委員会、採点委員会を置くほか、第三者の立場で出題の適切さや誤りの有無等を点検する入試問題点検委員会を置いている（資料4-1-3-B）。

学部入試の当日は、学長を長とする入試実施本部の統括のもとに、複数の試験場本部が置かれ、警備も含め、全学的に統一かつ迅速に対応する体制をとっている（資料4-1-3-C）。

以上の全学的体制とともに、各学部においても、入試委員会（学部）が設置され、第2次試験（個別学力検査）の実施等について、入試委員会（全学）及び入試実施本部の統括のもとに、必要な措置を迅速に講じる体制が整えられている。

また、大学院入試については、入試委員会（全学）の統括のもとに、その具体的実施及び問題作成等は各研究科に委ねられ、研究科長を責任者とする入試委員会等によって組織的に行われている（資料4-1-3-D）。

なお、学部入試については、入学者選抜の透明性という観点から、年度ごとにその結果（志願者・受験者・合格者・入学者数、最高・最低・平均点表（合格者）など）を本学ウェブサイトで公開している（資料4-1-3-E）。

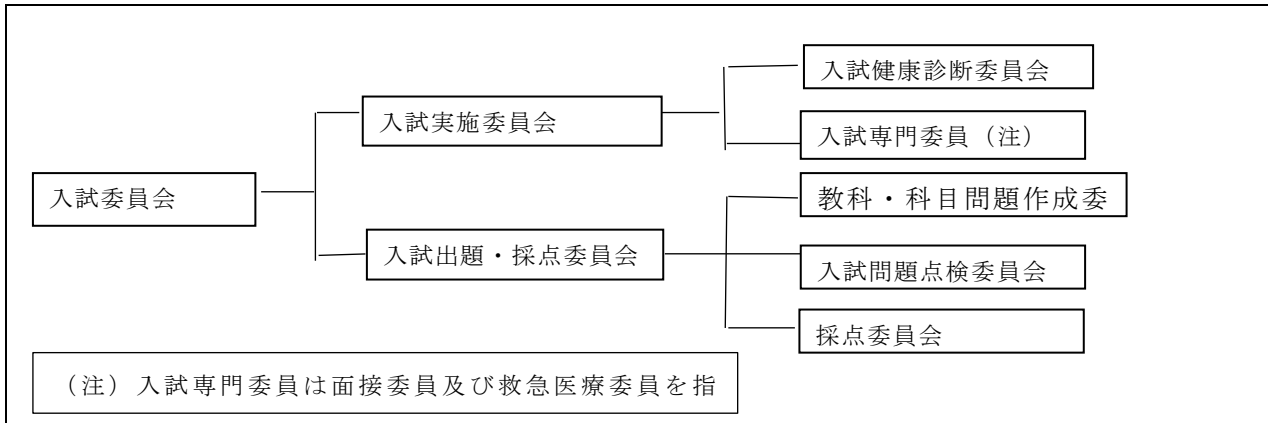
また、受験者の請求により、学部入試に係る個人成績（大学入試センター試験・個別学力検査の科目別得点）を本人に開示することを学生募集要項で明示している（資料4-1-3-F）。

資料4-1-3-A 入試委員会規程

http://www.osaka-cu.ac.jp/misc/reiki_int/reiki_honbun/x021RG00000018.html

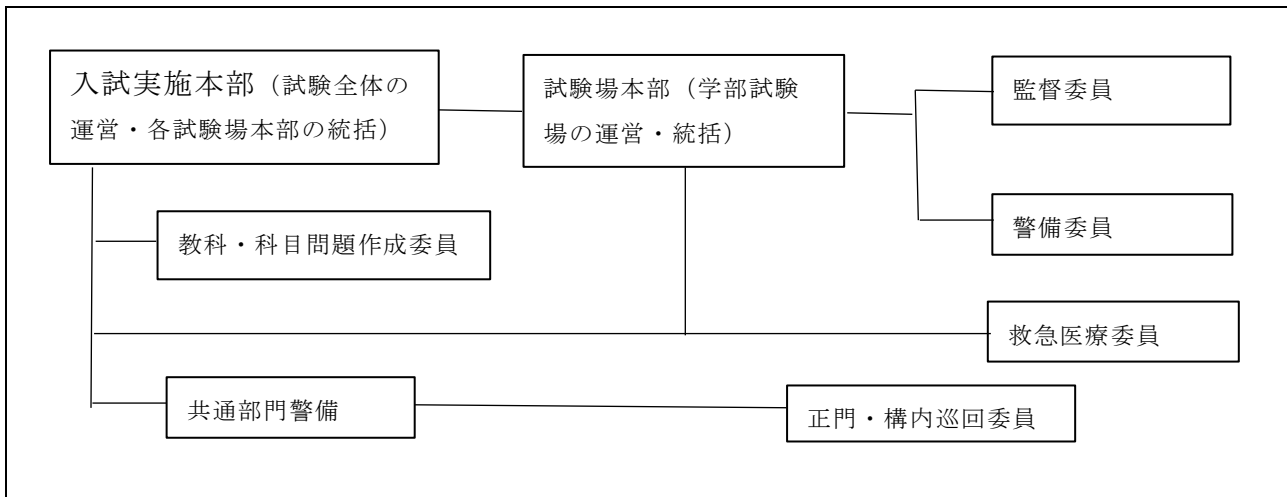
（出典）本学ウェブサイト

資料 4-1-3-B 学部入試に関する全学実施体制



(出典) 入試室資料

資料 4-1-3-C 学士課程の入学選抜（一般入試）に係る入試当日の対応



(出典) 入試室資料

資料 4-1-3-D 学部・研究科における入試の実施体制と実施状況例

<p>法学部</p>	<p>法学部では、入試委員会を設置する。学部長、2名の評議員、入試実施委員の計4名が同委員会を構成する。入試委員会は、個別学力検査等の実施体制、2段階選抜に関する決定、合格者の決定など、入学選抜試験に係る諸事項を審議したうえで、教授会に提出する原案を作成し、必要な場合に適切な措置を講じる任務を果たす。</p> <p>試験当日は学部長が試験主任、法曹養成専攻長である評議員が試験場副主任（兼警備主任）、入試実施委員が試験場副主任を務め法学部試験場本部で試験の実施と警備を統括する。適切な数の教員が試験会場において監督員を務め、同様に適切な数の教員が警備委員として試験会場の警備に当たる。</p> <p>学部内問題作成委員会は適切な数の専任教員によって構成され、定期的に委員会を開催し、問題の作成を行う。委員会構成員は学部内においても伏せられており、試験情報の漏洩が生じ得ない体制をとる。委員会が作成した試験問題は点検委員が点検することによって出題ミスの防止に万全を尽くす。</p>
<p>理学部</p>	<p>学部長、副学部長、評議員、入試実施委員、各学科主任から構成される入試成績判定会議を開催し、学部入試における入学者の合否の判定をはじめ、その根拠や判定基準について検討し、教授会への提出原案の作成を行う。また、学部入試の実施に関し検討すべき事柄は、適宜この構成員で検</p>

	<p>討する。</p> <p>試験当日は、学部長が試験場主任、副学部長が警備主任、入試実施委員が試験場副主任を務め、理学部試験場本部で試験の実施と警備を統括する。適切な数の教員が試験会場において監督員を務め、同様に適切な数の教員が警備員として試験会場の警備に当たる。推薦入試と編入試験での口述試験では、問題内容の機密のために受験者控え室に教員を監督者として配置する等の措置をとる。</p> <p>学部内の前期日程試験問題作成委員会が全学の前期日程の数学と理科の筆答試験問題を作成する。この委員会は適切な数の教員によって構成され、定期的に委員会を開催し問題の作成を行う。学部内に後期日程試験問題作成委員会が設けられ、理学部の後期日程の各学科の筆答試験問題を作成する。後期日程問題委員会は適切な数の教員によって構成され、定期的に委員会を開催し問題の作成を行う。両委員会の構成員名は学部内においても伏せられており、試験情報の漏洩が生じ得ない体勢をとる。両委員会が作成した試験問題は、点検委員が点検することにより、出題ミスの防止に万全を尽くす。採点には必要に応じて他学部教員も関与する。</p>
<p>生活科学研究科</p>	<p>生活科学研究科では、研究科内に大学院教務・入試委員会を設置する。研究科長、評議員、各コースから2名ずつの教員が同委員会を構成する。</p> <p>同委員会は、入試制度の企画立案をはじめ、入試実施体制、合格候補者の決定、募集要項の検討、入学試験全般の審議を行い、適切な措置を講じる任務を果たす。また、教授会への提出議案を整理、作成する。</p> <p>入試当日は、研究科長が試験場主任、評議員が試験場副主任、大学院教務・入試委員が入試実施委員を務める。また試験監督委員及び口述試験委員を任命し、運営にあたっている。社会人特別選抜の受験者は、筆答試験当日に口述試験を実施し、一般及び留学生については、筆答試験翌日に口述試験を実施する。</p> <p>試験問題は出題委員（採点委員兼務）により作成され、構成員が限定された教授会により審議決定することにより情報漏えいを防止している。</p>

(出典) 各学部・研究科資料

資料 4-1-3-E 入学試験結果の公表 (平成 27 年度)

http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/undergrad/exam_general

(出典) 本学ウェブサイト

資料 4-1-3-F 入学試験成績の提供

http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/undergrad/exam_general/gy5vn0

(出典) 平成 27 年度学生募集要項 [14 頁] 「 [12] 入学試験成績の提供 」

【分析結果とその根拠理由】

学部の入学者選抜は、「大阪市立大学入試委員会規程」にもとづき、入試委員会が全学的な実施体制を統括することにより、公正さを保つ責任ある体制が確保されている。また、入試問題点検委員会の設置や入試成績の開示制度なども、入学者選抜の適切さや透明性を具体的に確保している。大学院課程の入学者選抜についても、全学入試委員会の統括のもと、各研究科が責任ある実施体制を整備している。

以上により、本学では入学者選抜が適切な実施体制により公正に実施されているものと判断される。

観点 4-1-④： 入学者受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。

【観点に係る状況】

入学者選抜方法と入学後の成績の関連について調査・分析等を行うため、「入学者追跡調査委員会」が平成 17 年度に設置された。平成 17 年度以来、継続的に入学者追跡調査を実施するとともに、受験者、入学者及び卒業生に関する一貫したデータベースを構築してきた。平成 20 年度には、入学者追跡調査委員会により「入学者追跡調査報告書」がまとめられた。さらに、入学者追跡調査委員会は、平成 24 年度には、平成 20 年度の調査報告を踏まえて、平成 14 年度から平成 21 年度までの入学生を対象とした入学者追跡調査を実施し、報告書を提出した。おおむね 4 年ごとの入学者追跡調査が、本学における調査の一つのサイクルをなしている（資料 4-1-4-1、2）。

また、各学部・研究科においても、入学者受入方針に照らしつつ、継続的に入学後の成績等を追跡調査して、各学部・研究科が実施する推薦入試、帰国生徒・留学生や社会人に対する特別選抜制度など各種の選抜制度の検証を行っている。検証の結果行われた最近の改善の事例としては、学部では、推薦入試の導入もしくは改善（商学部・理学部・工学部・生活科学部）、専門学科・総合学科卒業生入試につき、最低限の学力を担保するためにセンター試験を課したこと（商学部）、国際バカロレア入試の導入（平成 28 年度入試より実施予定）（文学部）、学士・社会人入学の制度の実施（医学部看護学科）、大学院では、社会人特別選抜を導入（経済学研究科）、社会人特別選抜を全専修に適用（文学研究科）、推薦入学の導入（法学研究科）、10 月入学制度の導入（理学研究科・医学研究科）などがあげられる。

資料 4-1-4-1 平成 20 年度「入学者追跡調査報告書」

別添資料

資料 4-1-4-2 平成 24 年度「入学者追跡調査報告書」

別添資料

【分析結果とその根拠理由】

「入学者追跡調査委員会」を設置し、全学的な取組として入学者の追跡調査が実施され、入学者選抜方法と入学後の成績の関連について調査・分析が行われている。この全学的な検証の取組と連繋して各学部・研究科においても、入学者選抜方法がアドミッション・ポリシーに沿うものとなるよう検証・改善の努力を行っている。各々が実施する各種選抜制度に関して入学者の追跡調査が実施されており、その結果は入学者選抜方法の改善のために活用されている。

以上から、本学では、アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入状況について検証する組織的な取組が行われており、その結果を入学者選抜方法の改善に役立っている。

観点 4-2-①： 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

【観点に係る状況】

学部の入学者選抜は一般入試等と編入学入試（法学部、文学部、理学部、医学部）とに大別される。過去 5 年間の状況によれば、各々の学部における入学定員の充足率（入学者数／入学定員）は 98%から 118%の範囲に収まる。うち 4 学部の編入学試験については、おおむね 60%から 133%の範囲のなかにあるが、40%を下回った場合もある。全学の充足率の平均値は、平成 23 年度から平成 27 年度までの期間において、104%、103%、105%、103%、103%と推移している（資料 4-2-1-A）。この他、留学生入試による入学者は平成 23 年度から平成 27 年度の過去 5 年でそれぞれ、17 名、14 名、12 名、19 名、14 名である（資料 4-2-1-B）。

大学院課程のうち、前期博士課程（修士課程）の充足率は、文系 4 研究科（経営学、経済学、法学、文学）において、平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 カ年における経営学研究科の充足率は 100%を超えたものの、その他は過去 5 年間いずれも入学者が入学定員を超えることがなかった。特に法学研究科（法学研究科法曹養成専攻を除く）において、実入学者数が入学定員を大きく下回る（各年度ともに 30%以下）。創造都市研究科の充足率は 82%から 104%の範囲のなかにある。理系 5 研究科（理学、工学、医学、看護学、生活科学）では、70%から 122%の範囲に収まる。全学における前期博士課程の平均充足率は平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間で、106%、101%、102%、94%、97%と推移している。

後期博士課程については、創造都市、医学の 2 研究科の充足率は 74%から 130%の範囲内にある。その他の研究科においては、生活科学研究科が 28%（平成 23 年度）から 80%（平成 27 年度）へと上昇傾向を示す一方、文学研究科、理学研究科、工学研究科は平成 24 年度を最高値として減少傾向にある。全学の平均充足率は、平成 27 年度までの 5 年間で 57%、66%、55%、55%、48%と推移している（資料 4-2-1-C）。

各研究科では、大学院課程の充足率を改善する方策を講じている。平成 22・23 年度において、充足率の低い研究科（経営学研究科前期・後期、法学研究科・法曹養成専攻、生活科学研究科後期博士課程）の定員を削減し、充足率の高い研究科（理学研究科前期博士課程、工学研究科前期・後期博士課程）の定員を増やす措置をとった。その後、経済学研究科前期博士課程では、受験者（留学生を含む）を増加させるために、受験科目数を減らし、また英語版の問題を作成するといった変更を加えた（平成 27 年度入試より）。法学研究科では、法学政治学専攻で推薦入試を導入（平成 22 年度入試より）、法曹養成専攻で「飛び級」入学希望者への出願資格を付与し、また定員 60 名を 30 名に削減する措置をとった（平成 28 年度入試より）。工学研究科では、博士課程教育リーディングプログラムによる新たな選抜試験を開始し（平成 26 年度より）、また後期博士課程学生への経費等配分、奨学金制度の導入（平成 27 年度入試より）などにより、後期博士課程への進学率の向上を図っている。創造都市研究科はシステム・ソリューション分野の募集停止にともない、総定員 10 名を削減した。その他、医学研究科博士課程では、留学生特別枠の設置や文学研究科後期博士課程では、社会人入試を全専攻で導入するなど、入試制度の改善を図っている。

資料4-2-1-A 学部の入学状況と入学定員充足率（過去5年間）

学部・学科	平成23年度					平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度					
	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	
商学部	220	619	241	225	1.02	220	731	235	225	1.02	220	654	245	224	1.01	220	676	241	224	1.01	220	843	240	229	1.04	
経済学部	220	858	243	223	1.01	220	733	244	219	0.99	220	773	254	230	1.04	220	544	249	225	1.02	220	642	244	232	1.05	
法学部	165	880	187	182	1.10	165	760	179	170	1.03	165	740	176	169	1.02	165	765	177	169	1.02	165	742	177	167	1.01	
	3年次編入	5	36	5	2	0.40	5	28	2	0	0.00	5	25	6	4	0.80	5	31	4	1	0.20	5	39	5	3	0.60
計	170	916	192	184	1.08	170	788	181	170	1.00	170	765	182	173	1.02	170	796	181	170	1.00	170	781	182	170	1.00	
文学部	155	771	172	170	1.09	155	846	172	166	1.07	155	777	174	166	1.07	155	773	178	167	1.07	155	816	174	166	1.07	
3年次編入	10	29	10	7	0.70	10	55	12	11	1.10	10	36	11	9	0.90	10	31	13	10	1.00	10	54	13	12	1.20	
計	165	800	182	177	1.07	165	901	184	177	1.07	165	813	185	175	1.06	165	804	191	177	1.07	165	870	187	178	1.07	
理学部	数学科	24	141	28	27	1.12	24	156	28	27	1.12	24	210	29	26	1.08	24	196	28	25	1.04	24	151	28	26	1.08
	物理学	32	170	43	40	1.25	32	302	41	36	1.12	32	254	42	38	1.18	32	226	41	35	1.09	32	214	41	35	1.09
	化学科	37	131	47	45	1.21	37	201	45	41	1.10	37	225	48	44	1.18	37	224	47	44	1.18	37	108	44	41	1.10
	生物学科	26	196	31	30	1.15	26	153	32	28	1.07	26	137	34	32	1.23	26	172	36	31	1.10	26	115	35	30	1.07
	地球学科	16	77	21	20	1.25	16	70	20	20	1.25	16	79	21	20	1.25	16	57	22	22	1.22	16	50	22	20	1.11
	理科選択	9	27	10	10	1.11	9	16	12	11	1.22	9	13	11	11	1.22	9	25	11	11	1.22	9	12	13	13	1.44
	小計	144	742	180	173	1.19	144	898	178	163	1.13	144	918	185	171	1.18	144	900	185	166	1.13	144	850	183	165	1.11
	3年次編入	9	34	10	8	0.88	9	19	9	3	0.33	9	27	15	9	1.00	3	14	6	4	1.33	3	17	7	2	0.66
	計	153	776	190	180	1.18	153	917	187	166	1.08	153	945	200	180	1.18	151	914	191	172	1.13	151	867	190	167	1.10
工学部	機械工学科	56	415	65	58	1.03	56	474	67	58	1.03	56	438	68	59	1.05	56	449	67	56	1.00	56	400	66	59	1.05
	電子・物理工学科	42	261	49	42	1.00	42	301	51	43	1.02	42	301	53	43	1.02	42	238	51	46	1.09	42	198	51	42	1.00
	電気情報工学科*1	42	328	47	43	1.02	42	327	47	42	1.00	42	355	50	46	1.09	42	332	51	44	1.04	42	284	52	44	1.04
	化学バイオ工学科	56	241	61	58	1.03	56	279	64	59	1.05	56	265	63	56	1.00	56	181	64	58	1.03	56	231	64	60	1.07
	建築学科	34	222	37	36	1.03	34	240	37	35	1.02	34	273	39	36	1.05	34	305	38	37	1.08	34	209	38	34	1.00
	都市学科	50	228	54	50	1.00	50	292	56	51	1.02	50	282	71	52	1.04	50	195	58	51	1.02	50	294	60	54	1.08
計	280	1695	313	287	1.02	280	1913	322	288	1.02	280	1914	344	292	1.04	280	1700	329	292	1.04	280	1616	331	293	1.04	
医学部	医学科	92	382	92	91	0.98	92	444	92	92	1.00	92	418	92	92	1.00	92	335	92	92	1.00	95	308	95	95	1.00
	看護学科	40	183	41	41	1.02	40	232	43	43	1.07	55	228	57	55	1.00	55	231	57	55	1.00	55	242	58	57	1.03
	小計	132	565	133	132	1.00	132	676	135	135	1.02	147	646	149	147	1.00	147	566	149	147	1.00	150	550	153	152	1.01
	編入学*2	30	105	27	27	0.90	12	82	12	11	0.91															
計	162	670	160	159	0.98	144	758	147	146	1.01	147	646	149	147	1.00	147	566	149	147	1.00	150	550	153	152	1.01	
生活科学部	食品栄養学科	35	201	36	35	1.00	35	182	36	36	1.02	35	211	36	36	1.02	35	177	36	36	1.02	35	196	35	35	1.00
	居住環境学科	43	167	44	43	1.00	43	175	44	44	1.02	43	210	44	44	1.02	43	198	45	45	1.04	43	163	45	44	1.02
	人間福祉学科	45	153	45	45	1.00	45	175	46	46	1.02	45	179	46	46	1.02	45	117	46	45	1.00	45	148	47	45	1.00
	計	123	521	125	123	1.00	123	532	126	126	1.02	123	600	126	126	1.02	123	492	127	126	1.02	123	507	127	124	1.00
合計	1493	6855	1646	1558	1.04	1475	7273	1626	1517	1.03	1478	7110	1685	1547	1.05	1476	6492	1658	1533	1.03	1479	6476	1654	1545	1.04	

(注) 編入学を除く入試には、一般、推薦、帰国生徒、留学生、専門学科・総合学科卒業生、社会人が含まれる。

*1 平成24年度までは情報工学科

*2 平成25年度入試制度廃止

(出典) 入試室資料

資料4-2-1-B 留学生の入学状況

* 留学生の入学者数は4-2-1-Aにおける各学部の入学者数のなかに含まれている。

学部・学科		平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
商学部	私費外国人留学生	若干名	42	3	3	若干名	29	4	4	若干名	30	5	4	若干名	26	4	4	若干名	32	4	3
経済学部	私費外国人留学生	若干名	31	3	2	若干名	20	2	2	若干名	24	2	2	若干名	19	2	2	若干名	17	2	2
	外国政府推薦入試*1									若干名	2	2	2	若干名	2	2	2	若干名	3	2	2
法学部	私費外国人留学生	若干名	9	6	4	若干名	11	3	2	若干名	2	1	0	若干名	5	4	2	若干名	7	2	1
文学部	私費外国人留学生	若干名	14	3	3	若干名	8	3	2	若干名	10	3	2	若干名	22	5	5	若干名	17	4	4
理学部	私費外国人留学生	若干名	5	0	0	若干名	3	0	0	若干名	0	0	0	若干名	4	0	0	若干名	1	0	0
工学部	私費外国人留学生	若干名	26	5	5	若干名	25	4	4	若干名	17	2	2	若干名	20	4	4	若干名	24	2	2
生活科学部	私費外国人留学生	若干名	27	0	0	若干名	12	0	0	若干名	12	0	0	若干名	9	0	0	若干名	6	0	0
合計			154	20	17		108	16	14		97	15	12		107	21	19		107	16	14

*1 外国政府推薦入試は平成25年度入試より導入された。

(出典) 入試室資料

資料 4-2-1-C 研究科の入学状況と入学定員充足率（過去 5 年間）

[前期博士課程（修士課程）]

研究科	専攻	平成23年度					平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率
経営学	グローバルビジネス	24	67	31	29	1.20	24	70	27	25	1.04	24	53	28	24	1.00	24	46	19	16	0.66	24	52	25	17	0.70
経済学	現代経済学	16	27	18	11	0.68	16	28	14	10	0.62	16	27	16	8	0.50	16	21	14	11	0.68	16	37	18	13	0.81
法学		15	8	3	3	0.20	15	8	3	3	0.20	15	8	2	2	0.13	15	9	2	2	0.13	15	8	4	4	0.26
文学	哲学歴史学	14	29	20	19	1.35	14	25	9	6	0.42	14	24	14	12	0.85	14	15	7	6	0.42	14	22	17	14	1.00
	人間行動学	16	15	10	9	0.56	16	25	16	13	0.81	16	22	13	12	0.75	16	20	11	10	0.62	16	22	13	11	0.68
	言語文化学	22	33	20	19	0.86	22	28	20	17	0.77	22	23	14	12	0.54	22	31	20	17	0.77	22	26	17	14	0.63
	アジア都市文化学	8	1	1	1	0.12	8	12	8	8	1.00	8	11	7	6	0.75	8	6	3	3	0.37	8	3	2	2	0.25
	計	60	78	51	48	0.80	60	90	53	44	0.73	60	80	48	42	0.70	60	72	41	36	0.60	60	73	49	41	0.68
理学	教物系	29	63	44	37	1.27	29	60	41	28	0.96	29	65	43	34	1.17	29	72	45	33	1.13	29	63	47	32	1.10
	物質分子系	34	45	37	32	0.94	34	47	36	34	1.00	34	48	37	35	1.02	34	43	36	33	0.97	34	44	42	39	1.14
	生物地球系	29	54	44	41	1.41	29	46	37	30	1.03	29	54	37	34	1.17	29	49	41	40	1.37	29	54	42	39	1.34
	計	92	162	125	110	1.19	92	153	114	92	1.00	92	167	117	103	1.11	92	164	122	106	1.15	92	161	131	110	1.19
	工学	機械物理系	33	53	41	40	1.21	33	54	43	42	1.27	33	54	43	40	1.21	33	48	38	38	1.15	33	58	45	44
工学	電子情報系	50	65	57	55	1.10	50	79	64	61	1.22	50	71	61	61	1.22	50	63	61	57	1.14	50	67	59	56	1.12
	化学生物系	33	56	41	40	1.21	33	50	40	40	1.21	33	51	41	38	1.15	33	44	37	37	1.12	33	42	36	36	1.09
	都市系	45	93	58	55	1.22	45	71	58	55	1.22	45	52	46	45	1.00	45	76	59	52	1.15	45	69	60	58	1.28
	計	161	267	197	190	1.18	161	254	205	198	1.22	161	228	191	184	1.14	161	231	195	184	1.14	161	236	200	194	1.20
	医学	医科学	12	18	17	12	1.00	12	15	12	10	0.83	12	13	11	9	0.75	12	16	16	14	1.16	12	17	15	14
看護学	看護学	10	10	9	8	0.80	10	20	11	8	0.80	10	18	15	12	1.20	10	14	10	8	0.80	10	9	8	7	0.70
生活科学	生活科学	48	130	65	58	1.20	48	105	56	46	0.95	48	136	65	61	1.27	48	104	52	48	1.00	48	90	50	46	0.95
創造都市	都市ビジネス	35	51	38	36	1.02	35	70	40	38	1.08	35	60	35	33	0.94	35	64	37	35	1.00	35	46	39	37	1.05
	都市政策	50	62	51	48	0.96	50	73	56	52	1.04	50	83	61	57	1.14	50	55	39	36	0.72	50	48	41	37	0.74
	都市情報	25	36	28	26	1.04	25	32	27	25	1.00	25	28	22	22	0.88	25	27	22	20	0.80	25	26	19	17	0.68
	計	110	149	117	110	1.00	110	175	123	115	1.04	110	171	118	112	1.01	110	146	98	91	0.82	110	120	99	91	0.82
合計		548	916	633	579	1.06	548	918	618	551	1.01	548	901	611	557	1.02	548	823	569	516	0.94	548	803	599	537	0.97

[後期博士課程（博士課程）]

研究科	専攻	平成23年度					平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率
経営学	グローバルビジネス	8	10	6	6	0.75	8	9	8	8	1.00	8	13	9	9	1.12	8	9	8	8	1.00	8	9	5	4	0.50
経済学	現代経済学	8	5	4	3	0.37	8	3	2	2	0.25	8	2	1	0	0.00	8	7	6	6	0.75	8	0	0	0	0.00
法学		10	2	1	1	0.10	10	5	2	2	0.20	10	3	1	1	0.10	10	4	2	2	0.20	10	2	0	0	0.00
文学	哲学歴史学	8	7	3	3	0.37	8	8	7	7	0.87	8	4	3	3	0.37	8	5	5	5	0.62	8	4	2	2	0.25
	人間行動学	8	6	6	6	0.75	8	6	6	6	0.75	8	7	4	3	0.37	8	2	1	1	0.12	8	8	5	5	0.62
	言語文化学	12	4	3	3	0.25	12	11	9	8	0.66	12	7	6	6	0.50	12	4	3	3	0.25	12	4	3	2	0.16
	アジア都市文化学	4	3	2	2	0.50	4	1	1	1	0.25	4	0	0	0	0.00	4	1	1	1	0.25	4	1	1	1	0.25
	計	32	20	14	14	0.43	32	26	23	22	0.68	32	18	13	12	0.37	32	12	10	10	0.31	32	17	11	10	0.31
理学	教物系	14	9	9	9	0.64	14	8	8	8	0.57	14	12	11	10	0.71	14	2	2	2	0.14	14	7	6	6	0.42
	物質分子系	13	3	3	3	0.23	13	9	9	9	0.69	13	7	7	7	0.53	13	7	7	7	0.53	13	6	6	6	0.46
	生物地球系	14	9	9	9	0.64	14	12	11	11	0.78	14	6	6	6	0.42	14	7	7	7	0.50	14	6	5	5	0.35
	計	41	21	21	21	0.51	41	29	28	28	0.68	41	25	24	23	0.56	41	16	16	16	0.39	41	19	17	17	0.41
	工学	機械物理系	7	1	1	1	0.14	7	0	0	0	0.00	7	0	0	0	0.00	7	0	0	0	0.00	7	0	0	0
工学	電子情報系	10	5	5	5	0.50	10	7	7	7	0.70	10	1	1	1	0.10	10	1	1	1	0.10	10	1	1	1	0.10
	化学生物系	7	6	5	5	0.71	7	4	4	4	0.57	7	3	3	3	0.42	7	1	1	1	0.14	7	2	1	1	0.14
	都市系	9	3	3	3	0.33	9	5	5	4	0.44	9	3	3	3	0.33	9	2	2	2	0.22	9	1	1	1	0.11
	計	33	15	14	14	0.42	33	16	16	15	0.45	33	7	7	7	0.21	33	4	4	4	0.12	33	4	3	3	0.09
	医学	基礎医科学	30	13	13	12	0.40	30	7	5	5	0.16	30	9	8	7	0.23	30	6	6	6	0.20	30	3	3	3
医学	臨床医科学	40	43	43	43	1.07	40	49	49	49	1.22	40	47	47	47	1.17	40	56	53	52	1.30	40	50	50	49	1.22
	計	70	56	56	55	0.78	70	56	54	54	0.77	70	56	55	54	0.77	70	62	59	58	0.82	70	53	53	52	0.74
	看護学	看護学	3	3	3	3	1.00	3	7	4	4	1.33	3	3	3	3	1.00	3	7	3	3	1.00	3	4	3	1
生活科学	生活科学	21	7	6	6	0.28	15	7	7	7	0.46	15	9	7	6	0.40	15	11	9	9	0.60	15	12	12	12	0.80
創造都市	創造都市	10	18	13	13	1.30	10	22	12	12	1.20	10	18	12	12	1.20	10	17	12	12	1.20	10	21	13	13	1.30
合計		236	157	138	136	0.57	230	180	156	154	0.66	230	154	132	127	0.55	230	149	129	128	0.55	230	141	117	112	0.48

[専門職学位課程]

研究科	専攻	平成23年度					平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度				
		入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	充足率
法学	法曹養成	60	442	129	58	0.96	60	364	127	55	0.91	60	211	91	45	0.75	60	139	59	15	0.25	60	116	50	17	0.28
	計	60	442	129	58	0.96	60	364	127	55	0.91	60	211	91	45	0.75	60	139	59	15	0.25	60	116	50	17	0.28

(出典) 入試室資料

【分析結果とその根拠理由】

学士課程入試については、入学定員に対する入学者数の比率は 103%から 105%の間の数値を維持しており、適正な範囲である。前期博士課程については、全体としての充足率は 106%～94%の間で推移しており、おおむね適正と言えるが、文系の研究科で実入学者が入学定員を下回る傾向にある。このため、文系各研究科では、留学生を視野に入れた入試制度の変更（経済学研究科前期博士課程）、推薦入試の導入（法学研究科）などの措置をとっている。後期博士課程については、全体としては 48%から 66%の充足率であり、各研究科において改善のための取組を行っている。社会人入試の拡大（文学研究科）、博士課程教育リーディングプログラムによる新たな選抜試験、奨学金制度の導入（工学研究科）などである。また、法学研究科法曹養成専攻では、平成 28 年度入試から定員を 60 名から 30 名に半減させることを決定した。しかし、充足率の低落傾向が顕著な経済学、法学、文学、理学、工学各研究科ではより踏み込んだ改善策が求められている。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

- ・大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）のもとに、各学部・研究科がアドミッション・ポリシーを明確に定め、それぞれの学問分野や教育方針の特性に応じた多様な入学者選抜方法を採用している。
- ・入学者選抜の実施にあたっては、「大阪市立大学入試委員会規程」を定め、入学者選抜が全学的に適切な体制のもとで公正に実施されている。
- ・学士課程における入学定員に対する実入学者数の比率は適正に近い数値で維持されている。大学院前期博士課程においても、全体としての充足率は適正に近い水準を保っている。

【改善を要する点】

- ・後期博士課程において、入学定員と実入学者数の関係を適正化する方策の検討並びに実施を行う必要がある。